誰がビンセント・チンを殺したか？（1988）

WHO KILLED VINCENT CHIN?

メディア 映画
ジャンル ドキュメンタリー
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 84分
初公開日 1991/03/16
公開情報 シネセゾン

【キャッチコピー】
アジアは忘れない。

【解説】
実際に起こった事件を題材にしたドキュメンタリー映画。１９８２年デトロイトで、失業中の自動車工イベンスに日本人と間違われた中国人ビンセント・チンが、口論の末バットで殴り殺されるといった事件が起こった。何故イベンスは殺すまでにこの中国人を憎んだのか。監督は、長時間に渡るインタビューやニュースフィルムを巧みにつなぎ合わせながら問題を浮き彫りにしていく。ドキュメンタリーというと少々退屈に思う輩も居るかもしれないが、本作に出てくる犯人のイベンス、チンの母親や友人、目撃者らの証言、そしてニュースフィルムの断片を入れ替わり立ち代わり映していく様は、アナウンスでの解説や主観の表明は一切せず客観的で引いた視点のドキュメンタリーであるが故の、劇映画では表現出来ない数段の迫力を持って我々に迫ってくる。そしてこの事件を通して人種問題、経済問題、日本に対する敵意、法の問題点などのバックグラウンドを浮き上がらせるといった構造を持つこの作品は、ドキュメンタリーの持つ様々な劇映画にはない可能性を我々に提示する。結局無罪になってしまった犯人イベンスの、罪の意識の全くない開き直ったインタビュー映像には驚かされる。

【クレジット】

監督	クリスティン・チョイ	Christine Choy
製作	レニー・タジマ	Renee Tajima
製作総指揮	ファニータ・アンダーソン	
撮影	クリスティン・チョイ	Christine Choy
	ニック・ドゥニ	
	カイル・キップ	
	アル・サンタナ	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.